



日本語パートナーズ

応募要件 [日本語教育に関する資格・知識・経験は不問]

20歳から69歳で日本国籍を有する方

日常英会話ができる方

派遣前研修(約4週間)に全日程参加できる方

※派遣先により応募要件が異なりますので、詳細はウェブサイトの募集要項をご確認ください。

応募から渡航までの流れ

応募登録

ウェブサイトの「応募登録」ページにて、必要な情報を登録。

書類提出

入力した応募用紙とその他の必要な書類を提出。

選考

第1次選考(書類)と第2次選考(面接)があります。

派遣前研修

約4週間の研修で活動・生活に必要な知識を身につけます。



＼ 派遣先へ! /

国際交流基金による支援

派遣前研修

渡航前に現地での活動や生活に必要な知識・スキルを学ぶ約4週間の派遣前研修があります(合宿形式)。現地語の習得、現地事情、現地の日本語教師との授業の進め方等さまざまな講義が用意されており、現地で活動する心構えを身につけます。

渡航・滞在支援

日本から現地までの往復航空券や滞在費の支給、住居の提供、海外旅行保険の加入手配、関係機関と連携した安全確保・危機管理等のサポートがあります。

求める人物像

日本語パートナーズは、現地の日本語教師や日本語学習者のパートナーとして活動するため、派遣先の方々と一緒に協力しながら活動を行うことが求められます。日本語パートナーズとして公的な活動を行うために派遣されていることを十分に理解し、自覚と責任をもって行動できることが非常に大切です。また、言葉はもちろん、宗教や習慣等も異なる生活環境では、お互いの考え方の相違や困難に直面することもあります。現地の生活や行動様式、文化を学ぼうとする好奇心に加え、謙虚な姿勢かつ前向きに問題解決に取り組める人物が望ましいです。

ウェブサイト

日本語パートナーズ派遣事業は、独立行政法人国際交流基金が実施しています。詳しい情報や最新情報はウェブサイトをご覧ください。各種イベントの案内や、日本語パートナーズによる寄稿、活動内容が分かる動画等を掲載しています。

<https://asiawa.jpf.go.jp/partners/>



JAPAN FOUNDATION  国際交流基金

独立行政法人国際交流基金は、総合的に国際文化交流を実施する、外務省所管の専門機関です。日本の友人をふやし、世界との絆を育むため、「文化芸術交流」「海外における日本語教育」「日本研究と国際対話」を通じて、日本と世界をつなぐ場を作り、人々の間に共感や信頼、好意をはぐくんでいきます。

“次世代共創パートナーシップ”

—文化のWA2.0—

inspiring resonance 共鳴を、未来の息吹に。

独立行政法人国際交流基金は2024年から10年間にわたってASEANを中心とするアジア諸国と、日本語教育、文化芸術、日本研究、国際対話の分野で、互いの価値を認め合う、包括的な人的交流事業を集中的に実施します。心と心のふれあいを通じて、多層的な人的ネットワークの強化や、対象地域と日本との将来にわたる強い信頼関係の構築を目指します。日本語パートナーズ派遣事業はその主要事業です。

アジアの笑顔

日本語でつむぐ



JAPAN FOUNDATION  国際交流基金

現地の日本語教師のアシスタントとして アジアで日本語教育の支援をしています

日本語パートナーズ派遣事業は、アジアの中学校や高等学校等に幅広い世代を派遣し、現地の日本語の授業のサポートをするとともに、教室内外での日本文化の紹介を通じ、アジアの日本語教育を支援します。同時に、派遣された日本語パートナーズ自身も現地の言語や文化についての学びを深め、アジアの架け橋となることを目的とします。



日本語パートナーズの役割



日本語教育の支援

授業は現地の日本語教師が進めます。日本語パートナーズはアシスタントとして、授業内で発音・会話練習や板書、生徒の学習サポート等を行います。



日本文化の紹介と交流活動

派遣された学校や地域のコミュニティ等で、日本食や季節の行事の紹介、浴衣の着付け、書道体験等、本人のアイデアや特技を活かして日本文化を紹介し交流を深めます。



言語や文化の習得と発信

日本語パートナーズ自身も積極的に現地の言語、文化、社会を学び、現地で得た経験を日本へ発信します。現地への理解を深めることで双方向の交流を目指します。

リアルな声をご紹介します

日本語パートナーズの声

樋口 千春 さん [派遣先] インドネシア [期間] 7か月

日本語パートナーズだからこそ伝えられること

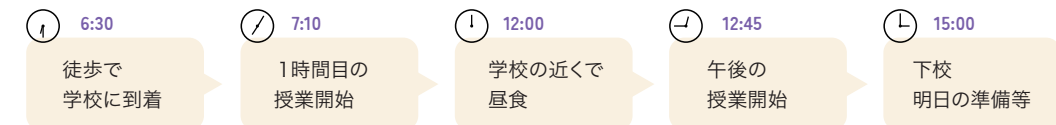
漫画やアニメ、インターネット等を通して簡単に日本の情報が得られる時代ですが、日本語パートナーズが現地の学校へ派遣され、直接日本語や日本文化を伝えることで、知識だけでなく「体験」を届けられると感じています。日本文化の紹介で書道体験をした時、生徒たちがきらきらした顔で何度も一生懸命に自分の名前を練習していた姿が印象的でした。ほかにも多くの活動をしました。現地の生徒たちはとても純粋で何に対しても「面白い」と言って取り組んでくれました。この経験を活かして帰国後も引き続きインドネシアの方々に日本文化の紹介をしていきたいです。

私が思う日本語パートナーズの魅力

旅行や留学とは違う、
日本と派遣先をつなぐ小さな外交官



1日の 過ごし方



日本語の授業で発音練習



日本文化の紹介で福笑い



学校の近くで昼食



授業以外でも生徒と会話

現地の日本語教師の声

ヴォー ティ ミン ゴック 先生
ベトナム・ハイバーチュン高校



「日本語パートナーズと話したい」 が変えた生徒の姿勢

恥ずかしがってあまり日本語を話せなかった生徒たちが自発的に勉強して話せるように工夫している様子が見えました。日本語パートナーズを受け入れているからこそ、授業とは違った状況が自然と生まれ会話練習になっています。また、生徒たちがベトナムの文化を紹介する等双方向の交流も実現できました。

現地の生徒の声

プーペット ボムマハーサイ さん
ラオス・ビエンチャン中等教育学校



日本語パートナーズから得た 知識と今後の目標

日本語パートナーズが来る前は教科書にある内容だけを勉強していましたが、日本語パートナーズから日本についているいろいろなことを聞くことで日本について深く知りたくなり、自分でも調べるようになりました。将来は日本の大学に留学し、日本とラオスの友好関係をさらに深めるような仕事がしたいです。

主な 派遣先

- ・インド
- ・タイ
- ・ベトナム
- ・ラオス 等
- ・インドネシア
- ・台湾
- ・マレーシア
- ・カンボジア
- ・フィリピン
- ・モンゴル

